**救急講習の受講にあたってのおねがい　（受講団体向け）**

令和４年７月１日～運用

1. **基本的な感染防止対策の実施について**

・主催者に十分な広さのある会場を準備してください。

　　※1名につき概ね４㎡とします。

・三密（密閉・密集・密接）を避ける目的で、受講者の人数は上記会場のキャパシティーを

越えない人数としてください。

※十分な広さの会場の準備ができない場合はご相談ください。

・会場２方向の窓を開け、換気を十分にしてください。

　　　・以下の項目に該当する方の参加は見合わせてください。

□受講当日に37.5℃以上の発熱（会場での検温含む）のある方

□風邪症状（咳、喉の痛み、倦怠感等）の味覚障害等がある方

□受講日前2週間以内に感染者、または濃厚接触者と接触があった方

・受講者は全員マスク着用をお願いします。（不織布マスクを推奨、鼻にフィット、隙間なし）

　　 ・学校の授業に対する講習は学校の感染対策に準じますが、マスクは着用してください。

　　・講習の前後の消毒（手洗い等）、講習中のこまめなアルコール消毒に努めてください。

※手指および講習資機材、ドアノブ等

1. **主催者、受講者に同意していただく事について**

・感染防止用品（マスク、消毒用アルコール、体温計）の準備をお願いします。

　※体表式温度計の貸し希望の方はご連絡ください。

・主催者は受講当日に会場入口付近で受講者の検温を行い、健康状態及び緊急連絡先

等を一覧に記載した調査表（以下「調査表」）を作成してください。

※参考資料「講習受講者確認表」（任意様式でも構いません）

・受講者は受講後2週間以内に感染が判明した場合、遅滞なく主催者に連絡してください。

・主催者は調査表を受講後2週間保管し、受講者が救急講習受講後2週間以内に感染

が判明した場合、その旨を遅滞なく消防本部警防課に連絡してください。また受講後2週

間以内に感染者が発生しなかった場合、保管していた調査票を適切に破棄してください。

・個人情報の取扱は主催者の責任で行ってください。

・その他、感染防止対策については消防職員の指示に従ってください。

・講習の実施にあたり、感染防止対策として人形に呼気を吹き込む「人工呼吸」は行ないま

せん。

　　 ・上記以外の実技も展示のみとさせていただく場合があります。

　　　・受講会場が暑くなるおそれがあるため、熱中症対策（水分補給、軽服装等）をお願いしま

す。

参考資料

**講習受講者確認表（案）　　　　主催者作成**

|  |  |
| --- | --- |
| 講　習　日 | 令和　　年　　月　　日（　）　　時　　分　～　　時　　分 |
| 講習会場 |  |
| 受講団体名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者名： |
| 確認講師名 |  |
| 番号 | 氏　名 | 体温（37.5℃未満） | 連　絡　先 | その他 |
| 例 | **救急　太郎** | **〇** | **携帯電話番号or団体名** |  |
| 1 |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |
| 6 |  |  |  |  |
| 7 |  |  |  |  |
| 8 |  |  |  |  |
| 9 |  |  |  |  |
| 10 |  |  |  |  |
| 11 |  |  |  |  |
| 12 |  |  |  |  |
| 13 |  |  |  |  |
| 14 |  |  |  |  |
| 15 |  |  |  |  |
| 16 |  |  |  |  |
| 17 |  |  |  |  |
| 18 |  |  |  |  |
| 19 |  |  |  |  |
| 20 |  |  |  |  |
| 講師 |  |  | 竹田市消防本部（消防署） |  |
| 講師 |  |  |
| 講師 |  |  |
| 講師 |  |  |

※この調査表は主催者の責任で作成し、受講後2週間保管すること

※受講後2週間以内に受講者に感染が判明した場合、消防本部警防課に届け出ること

※体温の欄は、37.5℃未満の場合「〇」と記入する

※連絡先の欄は、団体名か携帯電話番号とし、携帯電話番号の場合は**同意**を得ること